

情報公開文書

研究の名称	糖尿病症例の予後についての検討
整理番号	R2018076
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学 第一内科
研究責任者	富山大学学術研究部医学系 第一内科・准教授・藤坂志帆
研究の概要	<p>【研究対象者】</p> <p>2013年1月から6月の間に富山大学附属病院第一内科に糖尿病で通院していた症例の内 HbA1c>8.0%以上の症例を抽出し、その中で2018年1月から6月の間に通院継続が確認された症例</p> <p>【研究の目的・意義】</p> <p>糖尿病症例の予後・イベントの発症頻度と血糖コントロール状況及びその他の検査項目の相関関係を調べ、糖尿病症例の予後と、予後を決定する因子明らかにすることである。</p> <p>【研究の方法】</p> <p>2013年から2018年の間に富山大学附属病院第一内科に糖尿病で通院していた症例を登録し、2018年から3年間前向きに臨床情報を収集していき、評価項目について、その背景因子との関連について検討を行う。</p> <p>【研究期間】</p> <p>2018年10月～2032年9月</p> <p>【研究結果の公表の方法】</p> <p>研究成果は糖尿病または代謝に関連した学会、医学雑誌にて結果を発表する。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	<p>電子カルテ上の通常診療の情報を用いる。他機関への提供は無い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体及び危険因子毎に群分けしての主要評価項目及び副次的評価項目の発症率を検討する。 ・ 全体及び危険因子毎に群分けしての Kaplan-Meier 法での解析を行う。 ・ 主要評価項目及び副次的評価項目のイベントのあった群と無かった群との間での臨床指標毎の差異の検定（ Student ' s t-test, Mann-Whitney U test ）を行う。 ・ 主要評価項目及び副次的評価項目のイベント発症とその原因について研究開始時の検査結果との相関解析を行う。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	学術研究部医学系 第一内科・准教授・藤坂志帆
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者の御希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障が無い範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示致します。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	学術研究部医学系 第一内科・准教授・藤坂志帆
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用又は他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応致します。</p> <p>電話：076434-7287</p> <p>FAX：076-434-5025</p> <p>E-mail: naika1@med.u-toyama.ac.jp</p> <p>学術研究部医学系 第一内科・准教授・藤坂志帆</p>